

令和5年度 学校評価アンケート集計結果

千葉市立越智小学校

学校教育目標 「自ら考え 自ら学ぶ そして実践する子どもの育成」

～わくわく登校 いきいき活動 にこにこ下校～

学校評価アンケートの集計結果

集計方法は、

そう思う→4点 少し思う→3点 あまり思わない→2点 思わない→1点

として、それぞれの人数を乗じて合計を算出し、小数第1位までの平均値で記載。

※児童には、自分自身の姿について。保護者には、お子さんの姿について。

教職員には、自分の取り組みについてそれぞれ評価をお願いしてあります。

昨年度までは教職員も、子どもの姿を評価してアンケートに答えていたので、平均値の単純比較はできません。

【1】児童アンケート

質問内容		R4前期	R4後期	R5	
お・・・「思いやりの心を持ち」の育成					
1	学校に行くのが楽しい。	3.5	3.5	3.5	
2	家族や地域の人等に、自分から挨拶ができる。	3.4	3.3	3.5	↑
3	友達に優しくしている。	3.5	3.5	3.7	↑
ち・・・「知恵を出し合い」の育成					
4	学習したことは、大体わかる。	3.2	3.2	3.3	
5	家では、宿題と次の日の準備を、忘れずにしている。	3.3	3.2	3.4	↑
の・・・「伸びようと」の育成					
6	外遊びなど、体力づくりをしている。	3.4	3.4	3.4	
7	食後は、必ず歯磨きをしている。	3.4	3.3	3.5	↑
こ・・・「根気よくがんばる子」					
8	掃除を頑張っている。	3.6	3.5	3.7	↑
9	自分のやるべきことは、最後まできちんとできる。	3.4	3.6	3.5	

※R4後期比0.1ポイント以上上がった項目 ↑ 0.1ポイント以上下がった項目は ↓

※小数点第2位を四捨五入しているため、3.2と3.3でも0.1ポイントの差がない場合があります。

※ は3.5ポイント以上。

【考察】

全ての質問項目の平均点が3.3ポイント以上であり、大変良好な数値となった。昨年度より0.1ポイント以上の上昇が見られた項目が9項目中5項目となっていることから子どもたちの頑張り、意識の向上が見られる。

特に、「進んで挨拶」については、学校の重点として位置付ける中、数値の上昇が見られた。今後も継続的取り組み（集会等での声掛け、児童会による挨拶運動等）を行っていきたい。

同じように、「食後の歯磨き」にも上昇が見られた。コロナ禍では十分な活動ができなかったが、以前の形に戻すことができた項目として捉えることができる。

様々な活動について、コロナ禍前に戻すのか、戻さないのかを活動の意味、教育的効果を検討し、ニューノーマルを意識した教育活動を進めていきたい。

【2】保護者アンケート

アンケート回収率86.2%(81/94人)

質問内容		R4前期	R4後期	R5	
お・・・「思いやりの心を持ち」の育成					
1	お子さんは、楽しく学校に行っている。	3.7	3.6	3.6	
2	お子さんは、家族や地域の人等に自分から挨拶ができる。	3.3	3.2	3.3	↑
3	お子さんは、友達に優しく接することができる。	3.5	3.4	3.5	↑
ち・・・「知恵を出し合い」の育成					
4	学校は、お子さんに基礎・基本の学力を定着させようと努めている。	3.1	3.3	3.4	
5	お子さんには、家庭学習や学習準備の習慣が身に付いてきている。(宿題や翌日の用具準備など)	3.1	3.0	3.0	
の・・・「伸びようと」の育成					
6	お子さんは、外遊び等進んで体力づくりに取り組んでいる。	3.4	3.4	3.1	↓
7	お子さんは、家庭で食事の後に歯磨きは欠かさずに行っている。	3.1	3.2	3.2	
こ・・・「根気よくがんばる子」					
8	家族の一員として、お子さんにお手伝いや仕事をさせるようにしている。	3.2	2.9	3.3	↑
9	お子さんは自分の仕事を、最後まで投げ出さずに取り組んでいる。	3.0	3.0	3.1	
開かれた学校へ					
10	学校は、分かりやすく情報(学校だより等)を伝えている。	3.5	3.5	3.4	
11	学校は、お子さんの様子を見に行く機会をつくっている。	3.4	3.3	3.4	↑
12	学校へは、安心して通わせることができる。	3.6	3.6	3.6	

【自由記述】

- 児童数が少ないこともあり学年関係なく子供達皆がとても仲良くでき先生方も皆が子供達一人一人のことを把握できているよう感じます。
- 小さな町で過疎化が進んでいますが地域との交流も充実していてとても良い環境だと思います。
- 安心して子供を通わせることができます。
- 子どもに寄り添った対応、ありがとうございます。
- 家庭学習へのアドバイスが欲しい。
- 宿題を見ていると理解していない事が目立つ。学校で理解したものを宿題として出して欲しい。
- 家庭学習に向かう姿勢についても教育が必要です。
- 学校での様子で気になる事など、個人面談だけでなく定期的に知りたい。
- 学校での様子をきちんと把握できているのか心配です。
- いつ何をするからこの持ち物を用意ということで、用意をしているのに実行できないことがあります。
- 授業の進み具合が気になります。
- 宿題が、音読と口頭計算等のみで【書くこと】や【自分で考えること】が少ない気がしました。
- ペーパーレスで、〇〇だよりが配信になって確認しにくい、見にくい、子供が目にした方がよいもの、子供に知らせたい内容のものは、お便りて配布した方がいように思う。
- 学校だより、学年だより、献立表などは、当月に入ってからではなく、前月末までに配布されるとありがたいです。
- 積極的に挨拶をしてくれる子、こちらから挨拶をすると返してくれる子、が多いですが、たまにスルーされてしまうことがあります。以前はあまりなかったので、少し寂しいです。
- 友達関係が難しいです。

【考察】

全ての質問項目の平均点が3.0ポイント以上である。昨年度より0.1ポイント以上の上昇が見られた項目が12項目中5項目となっている。

「進んで挨拶」のポイントが高くなっている。その一方で、自由記述のような意見も聞かれる。セーフティウォッチャーさんへの挨拶も含め、越智の町全体で素敵な挨拶が広がるよう各活動を実施していく。

昨年度低かった「家庭での役割分担」へのご協力ありがとうございます。家庭での活動と学校での活動とで連携しながら子どもたちの力を調和のとれた形で伸ばしていくことが大切である。

開かれた学校へでは、「学校情報のデジタル化」については、昨年度好評との考察を行ったところであるが、配信時期や見やすさの点で改良しながら対応していく必要がある。今後あらゆる場面でデジタル化が進んでいくと思われるが、デジタルの良さを最大限に生かしながら、その他の方法も場面に応じて検討していく必要がある。「参観機会の確保」については、概ね良好と捉え、次年度以降も本年度と同等の参観機会等を確保したい。「学校の安心度」については、昨年度同様高いポイントであった。今後もこの数値を継続できるよう、交通安全指導、防災安全指導、健康安全指導、いじめ問題への取組等学校全体で取り組んでいきたい。

【3】教職員アンケート

質問内容		R4前期	R4後期	R5	
お・・・「思いやりの心を持ち」の育成					
1	子どもたちが、学校で楽しく過ごせるように努めている。	3.7	3.6	3.8	↑
2	子どもたちが、自分から挨拶できるように努めている。	3.0	3.3	3.4	↑
3	子どもたちが、友達に優しく接するところができるように努めている	3.3	3.4	3.6	↑
ち・・・「知恵を出し合い」の育成					
4	子どもたちに、基礎・基本の学力を定着させようと努めている。	2.5	2.5	3.4	↑
5	子どもたちに、家庭学習の習慣が身につくように努めている。	2.8	2.8	2.8	
の・・・「伸びようと」の育成					
6	外遊びなど、子どもたちの体力づくりに努めている。	2.7	3.7	3.3	↓
7	子どもたちが、給食後の歯磨きを欠かさずするように努めている。	3.7		3.3	
こ・・・「根気よくがんばる子」					
8	子どもたちが、清掃にしっかり取り組めるように努めている。	3.2	3.1	3.7	↑
9	子どもたちが、やるべきことに最後まで責任をもって取り組めるように努めている。	3.3	3.2	3.7	↑

【考察】

質問項目の平均点が概ね3.0ポイント以上である。

職員の「自分から挨拶ができる子」への意識が徐々に高まっている。児童、保護者ともに「進んで挨拶」ができていく実感が高まっており、今後とも挨拶運動などに継続的に取り組んでいく。

本校においての重要課題である「学力の定着」についても、職員の「定着させよう」という意識が高まっていることが伺える。児童、保護者ともに基礎・基本の「学力への定着」への評価ポイントが高くなっているが、気を緩めることなく引き続き更なる授業改善に取り組んでいく必要がある。

一方で、「家庭学習」については、昨年度に引き続き教職員、保護者ともに低い平均点となっている。基礎・基本の学力の定着と関係性の高い項目であることから、後期に向けて、学校として今一度統一した方向性を検討したい。また、千葉市ではギガタブの家庭学習での使用を推進しているため、学校としても使用を検討していく必要がある。

児童の体力づくりについて、-0.3ポイントと大幅に低下している。例年になく気温が高かったことも影響していると思われるが、これから冬にかけて気候が良くなる中、縄跳び週間など、子どもたちが意識的に体を動かす場を設定していきたい。